| 令和5年度 教 | | | | | | | 育 | 計 | - 画 | | 学校番号 23 | 37 |
|-----------|---|---|---|----------|-----|---|---|---|-----|----|---------|----|
| 愛南町立内海中学校 | | | | | | | | | | | | |
| 校長名 | 鉾 | 岩 | 俊 | <u>-</u> | 学級数 | (| 1 |) | 生徒数 | 12 | 教職員数 | 5 |



校訓 自主 友愛 健康

学校教育目標

自律・貢献 ~気付き・考え・行動する~

目指す教師像

- ○生徒に寄り添う教師
- ○生徒を信じ、任せる教師
- ○生徒に挑戦させる教師

目指す学校像

- ○将来の自己実現に向けて生徒
 - が育つ学校
- ○世代を超えてつながる学校

重点事項

少人数の利 点を生かし て

機動力

- ○確かな学力の定着と向上 (授業改善)
- ○地域とつながる体験学習の充実
- ○地域貢献の充実(ボランティア体験)

様々な人との出会いと体験の創造地の利

目指す生徒像

- ○自分の意志で行動できる生徒
- ○誰かのために行動する生徒



- 【育てたい資質・能力】
- 〇対話力
- ○やり抜く力(リーダーシップ)

学校

学校運営協議会(閉校行事等実行委員会)を生かした学校運営

信頼



☆積極的な情報発信 ☆考えさせる場の確保 ☆失敗を恐れず、安心して挑戦できる風土づくり



連携

家 庭

- ○PTA 活動の充実
- ○こまめな情報交換、情報共有



地 域

- ○人材提供 (キャリア教育)
- ○ボランティアの拡大

1 確かな学力の定着と向上

- 主体的・対話的で深い学びに向かう授業を確実に実施する。
- 効果的に ICT を活用し、一人ひとりに応じたきめ細かい指導を行う。

2 生徒指導の徹底と健全育成

○ 定期的なアンケートや教育相談を実施して、いじめ・不登校問題の未然防止と 早期対応に努める。

3 学校組織の活性化及び業務改善

- 学校のビジョンを明確にし、共有することで学校行事や体験活動の目的をはっ きりさせ、働きやすさや働きがいを向上させる。
- 会議の精選や時間短縮に取り組む。
- スクール・サポート・スタッフや地域の人材を効果的に活用する。

4 人権・同和教育、特別支援教育の充実

○ 道徳や特別活動を中心に、すべての教育活動を通して、違いを認め、一人ひとりを大切にする教育を推進する。

5 健康教育の推進

○ 運動を通じて体力を養うとともに、望ましい食習慣と健康的な生活習慣を形成 する。

6 安全・安心な学校づくりの推進

○ 防災、防犯、交通安全等に関する実践的な研修や訓練を通して、教職員一人ひとりの危機管理意識の高揚を図る。

1 人事管理

- 学校経営の基本方針に基づき、日常的に教育情報を共有しながら、全教職員で その具現化に努める。
- 服務規律を厳正にし、節度ある言動をとる。
- 実践的指導力と人間的魅力を深めるため、専門的、実践的な研修に努める。

2 物的管理

- 施設・設備の安全点検を徹底し、「生徒の命を守る」ことを第一として行動する。
- 「人が環境をつくり、環境は人を育てる」の理念から教育環境を高める環境整備に努める。

3 事務管理

- チェック機能を有効にし、厳正な金銭処理に努める。
- 校務支援システムにより、文書事務の迅速かつ適正な処理と機能的管理の充実 を図る。
- 共同学校事務室と連携を図り、事務管理機能を高める。

本校教育の特色

本校は、今年度で閉校が決定しており、3年生1クラスのみという特殊な状況にある。下級生がいないため、異年齢集団での活動ができないというマイナス面を小学校や地域の協力で克服したいと考えている。また、単学級、少人数であるため機動力があるというプラス面を生かして、様々な人との出会いや充実した体験活動を創造していきたい。敷地内に艇庫を有し、シーカヤックを20艇以上保有している。このシーカヤックを活用した「海学習」を総合的な学習の時間の中核に据えている。地域の人材を活用して、専門的な指導を仰いだり、保護者の方々のサポートを得たりしながら、他校ではなかなか実施できない体験学習を行っている。

点目

標

管

理

運

営

重